

特集

# キリシタン史跡

「仏の谷」山道整備完成

ここから歴史が動いた……

## 仏の谷キリシタン洞窟 (中岳町)

潜伏キリシタンが発覚した事件「郡崩れ」の発端の地といわれる岩穴。郡村の少年がキリシタンの絵像を密かにまつり、祈りをささげていたといわれています。

# こおりくず 「郡崩れ」発端の地とされる 仏の谷の岩穴

**山道の周辺整備が完成**

萱瀬地区中岳町の山  
あいには、キリシタン史跡の  
岩穴「仏の谷」がありま  
す。潜伏キリシタンが捕  
まった事件「郡崩れ」の発  
端の地とされています。

この岩穴までは険しい  
山道でしたが、ロープなど  
を取り付け、山道を整  
備。案内看板や観覧テラ  
スも設置し、国道444  
号沿いの萱瀬ダム下にあ  
る「ふれあい広場」から訪  
れやすくなりました。

**キリシタン巡礼の地として**

日本初のキリシタン大  
名・大村純忠が治めた大  
村は、キリスト教と関わ  
りが深く、関連の史跡も  
数多く存在します。

「長崎の教会群とキリ  
スト教関連遺産」の世界  
文化遺産登録を前に、キ  
リシタン巡礼の地として  
の観光活用が期待されて  
います。



↑岩穴に着くとどことなく神秘的な雰囲気。約350年前、キリシタンたちはここで聖なる祈りを捧げていたのでしょうか…。

↓新しく設置されたロープを頼りに、急斜面(山道約200メートル)を登ると岩穴に到着します。



↑山道整備の完成を祝いテープカット。カトリック長崎大司教区の祝福式や植松教会聖歌隊のコーラスなどが行われました。(11/21)

## キリシタン史跡の核に

歴史観光の案内ボランティアガイドとして活動する福田さん。「キリシタン史跡のなかでも一番その様子を物語っている。」という「妻子別れの石」に案内していただき、ここにまつわる歴史を教えてくださいました。

福田さんは大村のキリシタン史跡について、「キリスト教に関する歴史は奥深い。世界文化遺産登録を目指す五島の教会群は、大村藩からの移住者が信仰を続けてきた結果です。敬意を表したい。」と思いを馳せま

す。訪れやすくなった仏の谷についても、「周辺整備はとても意義があり、大村のキリシタン史跡の核になる。」と語ります。「この周辺には知られていない史跡が散在していて、一日楽しめるコースができる。」と期待を寄せています。



歴史観光ボランティアガイドの会 会長  
ふくだ しょうざぶろう  
福田 正三郎さん

Interview

## まさかこの山に…

この山の持ち主である山田さん。「小さいころ、祖父母に岩穴があることは聞いていたが、まさか郡崩れの発端の岩穴だったとは。昔は道さきえなかつたはず。どうやってあの岩穴を探し出したのか不思議。」と驚いた様子。「イモ掘りに行った帰りに、この山の木の実を楽しみに、けもの道を登っていた。」と思いを振り返ります。

以前は登り口が分からず、「よく道を尋ねられた。」という山田さん。整備され、観光名所になることに、「昔、土石流が起こって岩がごろごろしている。岩場もすべりやすいので、登山ができる格好で来てください。先祖代々守ってきた山ですから、ぜひマナーを守って歴史のロマンに触れてほしい。」と話されました。



「仏の谷」の山道の地権者  
やまだ つとむ  
山田 勉さん

Interview

# 日本初のキリシタン大名 大村純忠

キリシタン大名の誕生

大村純忠は当時、肥前最強を誇っていた島原の有馬家から養子に迎えられ、大村家第18代領主となります。1562年には、横瀬浦を開港し、南蛮貿易を開始。その後、福田、長崎と続けて開港し、今日の異国情緒あふれる長崎のきっかけをつくりました。純忠は翌年、洗礼を受けて日本初のキリシタン大名になります。

1582年には、他のキリシタン大名とともに、4人の少年を「天正遣欧少年使節」としてローマに派遣。大航海を無事に乗り越えた一行は、ヨーロッパ各地で大歓迎を受け、8年5か月の長旅の末、進んだ技術や知識を持ち帰り、日本文化の発展に大きな影響を与えました。



大村純忠終焉の居館跡  
(荒瀬町)

大村純忠が晩年を過ごした館があった場所です。発掘調査では、純忠時代の建物跡や碗などが見つかりました。



本経寺大村藩主大村家墓所  
(古町1丁目)

大村家歴代藩主とその一族の墓。キリシタン禁教令で改宗した大村家の菩提寺として建てられました。高さ6mを超える墓碑も。

## キリスト教の繁栄と弾圧

南蛮貿易の始まりとともに、領内では急速にキリスト教が広まり、最盛期はすべての領民が改宗し、約6万人が信徒となります。宣教師の要求のもと、領内の神社や寺院がすべて破壊され、領内には教会が建ち並びました。さらに純忠は、貿易の利益を確かなものにするため、長崎・茂木をイエズス会に寄進。布教と南蛮貿易の拠点として栄えました。

しかし、1587年、純忠の死後、キリスト教に対する考え方が大きく変わります。豊臣秀吉は「伴天連追放令」を発令し、宣教師への弾圧が始まりました。その弾圧は江戸時代に一層厳しさを増し、信仰も禁止されます。この情勢を察知し、純忠の息子・喜前は日蓮宗に改宗。大村家の菩提寺として本経寺を建立します。これは、キリシタンであった大村家が棄教したことを内外に示すためのもので、仏教の信仰をより明確にしなければならなかった特殊な事情がうかがえます。

こおりくずれ

## 「郡崩れ」

1657年

### 天草四郎の生まれ変わり現る

島原・天草の乱の後には、取り締まりが徹底され、キリシタンはいなくなったと思われていました。

しかし、長崎に住んでいた池尻理左衛門は、大村の郡村に住む兵作という男から、「郡村の矢次という所に、天草四郎の生まれ変わりという神童が現れ、萱瀬村の山奥に不思議な絵を隠し持っていて、奇妙な術を説いている。」という話を聞きました。理左衛門はキリシタンの話だと悟り、すぐに役人に伝えました。兵作は捕えられ、大村藩は長崎奉行から「藩内にキリシタンがいる。」と知らされ大騒ぎに。すぐに捜査が始まり、兵作の妻子や近親者、萱瀬村の山中の隠れ家に集まっていた信者たちが次々に捕えられました。

天草四郎の生まれ変わりと呼ばれ



多良山系のふもとで険しい谷の中にある仏の谷。この岩穴で密かにキリスト教の信仰を行っていたと言い伝えられています。

## 禁教時代の大事件

た少年は、名を六左衛門といい、その家族が密かにキリスト教の信仰を続けていました。それは、長年の間に日本の風習と交じり合い、まじないに似た力で多くの信者を引き付けました。信者たちは、萱瀬の「仏の谷」にある岩穴に集まり、祈りをささげていたといひます。

### 多くの犠牲者を出す大事件に

事件は、郡村から萱瀬村、江の串村、千綿村へと広がり、逮捕者は603人にのぼりました。取り調べの結果、406人が処刑されることになり、数が多かったため、長崎、佐賀、平戸、島原などで処刑されました。

大村で処刑されることになった131人は、大村牢から200人の武士の警護の中連行されました。途中、「妻子別れの石」で家族などと最後の別れを許され、水盃を交わしたといわれています。悲しみの涙でぬれた石は「涙石」と呼ばれ、今もコケが生えないといひ伝えられています。

受刑者は、そこから800メートルほど離れた刑場の放虎原へと向かい殉教。市内には、「郡崩れ」の殉教者をしるすぶ頭彰碑が建てられ、その霊を慰めています。

# 大村のキリシタン史跡 殉教の哀史



**天正遣欧少年使節顕彰之像**  
(森園町)

大村純忠が、ヨーロッパを見聞させ日本を紹介するためにローマに派遣した4少年の像。彼らの出発400年を記念して建立。



**帯取殉教地跡**  
(今富町)

この付近が、大村で初めて2人の宣教師が処刑された場所といわれています。

日本初のキリシタン大名「大村純忠」が治めていた大村。その歴史を物語る数々のキリシタンに関する史跡が残されています。

昨今は、国内だけでなく、海外からも巡礼者が訪れ、注目を集めています。安土桃山時代に始まる、400年前の歴史に思いを馳せながら、ぜひ一度訪ねてみてください。



**放虎原殉教地**  
(協和町)

郡崩れで、藩内の潜伏キリシタンが捕えられ、この場所で処刑されました。その様子を描いた銅板のレリーフが建っています。



**妻子別れの石**  
(杭出津3丁目)

郡崩れの逮捕者が別れを惜しみ、家族と水盃を交わしたと伝わる所。涙でぬれた石は、今でもコケが生えないと伝えられています。



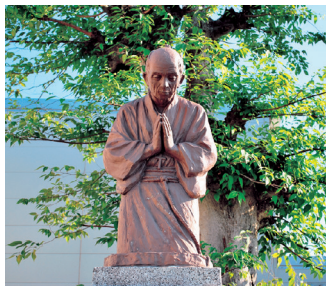
**獄門所跡**  
(松並1丁目)

郡崩れで処刑された131人の首を、長崎街道沿いの人の往来が多いこの場所でさらしたといわれています。



**胴塚跡**  
(桜馬場2丁目)

郡崩れの受刑者の胴体を埋めた場所といわれています。受刑者の復活を恐れ、胴と首を分けて埋めたといわれています。



**首塚跡**  
(原口町)

郡崩れの受刑者の首を埋めた場所といわれています。胴体を埋めた場所から500メートルほど離れた場所に葬られました。



**鈴田牢跡**  
(陰平町)

外国人宣教師ら30数人が5年間閉じ込められていた牢屋の跡。長崎の西坂と大村の放虎原で殉教したといわれています。



**田下のキリシタン様式墓碑**  
(田下町)

市内では数少ないキリシタン様式の墓碑の一つ。1653年の銘が刻まれています。



**今富のキリシタン墓碑**  
(今富町)

大村家の家臣の墓と伝えられるキリシタン墓碑。仏式の墓のように見せていて、大村の複雑な宗教事情を物語っています。

## おすすめ巡礼コース

goal

- 森園公園 ← 40分 (2.9km)
- 首塚跡 ← 15分 (1.2km)
- 胴塚跡 ← 14分 (1.1km)
- 獄門所跡 ← 18分 (1.4km)
- 大村藩主大村家墓所(本経寺) ← 7分 (0.5km)
- 妻子別れの石 ← 13分 (1.1km)
- 放虎原殉教地 ← 12分 (0.9km)

歩いてぶらり  
大村キリシタン巡礼コース

start

詳しい場所や地図は「おおむらキリシタンマップ」に掲載しています。また、「おおむら観光ナビ」のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



**メダリオン「無原罪の聖母」**  
(東本町)

禁教時代の銘が刻まれた大村家老の墓石の下から発見された青銅製の大型メダル。市立史料館に保管・展示しています。



**原口郷出土のキリシタン墓碑**  
(東本町)

半楕円形の石材に花十字とローマ字銘が刻まれた珍しい様式の墓碑。市立史料館に保管・展示しています。